

2019 製図試験.com 添削シート

rev.2.0

時間チェックリスト：毎回経過時間を入れてください。				
STEP		目標 時間	経過 目標	備考
E0	年度条件	0		間口・スパン＋敷地＋接続
E1	I.設計条件	1		具体的なコンセプトのイメージング
E1	4.計画に当たっての留意事項	2		具体的な記述を確認
E1	3.計画の要点	3		図面に反映しそうな点を確認
E2	Ⅱ.要求図書	4		いつもと違う記述があれば確認
E3	1.敷地及び周辺条件	6		建ぺい率、用途地域、基礎他
	アプローチ(仮)	8		M／Sのアプローチ(仮) 想定
	敷地の向き	11		◎×△の想定
E4	2.建築物	12		階数、目標床面積の設定
	積上図（１）	13		24コマもしくは1階最大と総3階建
E5	3.屋外施設等	16		全外構の大きさ図示
E6	最大建築面積	20		外構が納められる広場含み最大面積
E7	(3)要求室	23		全体俯瞰＋適宜面積計算
	全室リスト	40		高さ・動線・部門含み面積計算
	廊下率	41		1.4～1.6＋補正が必要かどうか
	部門廊下含み面積	43		グロス計算＋ネット計算
	高さ情報	45		読み間違いはないか
E8	動線図	50		思い込み・読み間違いはないか確認
	積上図（２）	51		積上図(1)よりも解答に近づくこと
E9	ポイントアップ	53		不明・新出・判断迷う点
	プラン方針	55		ポイントアップから方向性方針決定
E10	ゾーニング	65		部門ボリューム・建築物外形・面積概算
E11	コアゾーニング	70		コア位置・建築物外形・スケルトンイメージ
E12	コマプランニング	85		室忘れ・面積間違いはないか
E13	問題文・エスキース最終確認	95		問題文とエスキースの最終確認
E14	1/400エスキース	135		A4版1/400で一旦まとめる
Y1	計画の要点	145		キーワード＋網羅＋文章化
D0	重要記載事項・面積表	155		面積表は確定分だけでも描く
D1	基準線・寸法	165		基準線及び寸法を固める
D2	平面図スケルトン	180		スケルトンの完成・上下階チェック
D3	平面図間仕切り下書き	215		エスキースを1/200にトレース
D4	平面図間仕切り仕上げ	260		縦線・横線を一気に描き入れ
D5	断面図	280		平面図との整合性注意
D6	外構文字入れ	320		最小限表現での完成をめざす
D7	アピール	330		注釈等のアピール
CHK	最終チェック	360		最終チェック＋保険として30分
(注) 課題によって若干のステップ・目標時間の変更があります。				

自己評価リスト：自己評価を A～C で評価枠上部に入れてください。

NO	項目	自己評価 ／弊社評価	チェック内容
1	図面印象		読みやすさ、線の意味とメリハリ 描き込み（必要なことが過不足なく） 文字、答案としての丁寧さ、アピール
2	アプローチ		メイン・サブ、その他広場等アプローチ 歩車分離、自動車、自転車 敷地・建物への記号、ルート、表現
3	寸法・面積		寸法（数字の読みやすさ、寸法線、留め） 面積表（計算式、合計、建ぺい率、容積率）、面積上下限
4	外部空間		広場（面積、形状、配置）屋上庭園（面積、形状、位置） 駐車場（台数、表記）、駐輪場（台数、表記）、 その他外構、設備関連他
5	スケルトン		建築物外形、共用部形状及び豊かさ 動線、ゾーニング、 コア配置、大空間位置、スケルトン、本館との接続
6	プラン印象		大空間（扱い方、表記）、コア（階段数他） 共用部形状、室並べ方、構造
7	要求諸室		要求室面積過不足、要求室形状(1:2)、 動線特記抜け、造作特記抜け他
8	法規		防火区画（縦穴区画、面積区画）、外部区画、 2方向避難(2階、3階)、敷地内通路、採光、道路斜線 延焼ライン表現、BF法（階段、EV、その他）
9	構造		ラーメン構造、柱陸立ち、スパン、カンチレバー、大空間 （PC、B梁、柱）、特定天井、Exp.J.表現、その他
10	断面図		表記（構造、基礎、室名、寸法、天井高さ、階高さ、 最高高さ、屋上、設備、パッシブ関連アピール） 平断不一致、切断位置
11	設備・PS関連		PS、空調用PS、EPS、DS 空調機械室、受水槽室、キュービクル、ドライエリア、他
12	計画の要点		図面との整合性、日本語、建築計画、構造計画、設備計 画、環境負荷低減、防災対策、セキュリティ他
13	他・失格		面積アウト、図面不一致、法規（単体規定・集団規定）、 室欠落他
総合評価			↑自己評価を書き入れてください！ ランクとの関連A,A-＝1,B+,B＝2,B-＝3,C＝4

<講評>	課題：op/ 1 / 2 / 3 / 4 / 模試 他	
	ID：31	<評価>
	ハンドルネーム	

添削リスト：講師の方で書き込みます。

NO	減点	コード	内容				
1	大-中-小						
2	大-中-小						
3	大-中-小						
4	大-中-小						
5	大-中-小						
6	大-中-小						
7	大-中-小						
8	大-中-小						
9	大-中-小						
10	大-中-小						
11	大-中-小						
12	大-中-小						
13	大-中-小						
14	大-中-小						
15	大-中-小						
16	大-中-小						
17	大-中-小						
18	大-中-小						
19	大-中-小						
20	大-中-小						
21	大-中-小						
22	大-中-小						
23	大-中-小						
24	大-中-小						
25	大-中-小						
添削コード	D	Drawing	図面印象 線・文字・表現	R	Room	要求諸室 室面積・造作	
	A	Approch	アプ・歩車・利用者管理サービス	L	Law	建築法規 集団規定・単体規定	
	E	Exterior	外部空間 駐車駐輪・広場、外構	S	Structure	建築構造 ラーメン	
	C	Calc	面積計算	T	secTion	断面表現	
	Z	Zoning	動線・コア位置・ゾーニング	Q	eEquipment	建築設備 電気・空調・給排水	
	P	Planning	プラン印象・廊下形状・室形状	N	Note	計画要点	
	V	Void	吹抜大空間 位置・機能	X	eXplode	失格系	

この課題は、既存の美術館（以下本館）の敷地内の不忍池（しのばずのいけ）を含む一部を分割して、1分館を計画するものである。分割する敷地内には伐採できない高さ 12m のご神木があり、そのご神木を活かした分館とすることが求められている。分館は、様々な市民展示活動や検索拠点となることを目的として計画する。

1. 敷地及び周辺条件

(1) 敷地の形状、接道条件、周辺状況等は、「敷地図」のとおりである。

(2) 敷地は道路及び隣地との高低差はないものとする。また歩道の切り開きは、1箇所あたり6mまでできるものとする。

- (1) 敷地の形状、接条件、周辺状況等は、「敷地図」のとおりである。
- (2) 敷地は道路及び隣地との高低差はないとする。また歩道の切り開きは、1箇所あたり6mまでとするものとする。
- (3) 敷地は、住居地域及び準防火地域に指定される。また、建ぺい率の限度は70%（角地加算を含む）、容積率の限度は200%である。
- (4) 電気、ガス及び上下水道は、完備している。
- (5) 敷地は池であったため、支持地盤として使えるものはGL-5m以下部分のみである。
- (6) 河川の氾濫、日影及び積雪の配慮はななくよい。

(1) 構造、階数等  
地上3階建ての建物とし、構造形式は自由とする。

(2) 床面積の合計  
地階を除く床面積の合計は、1,900㎡以上2,300㎡以下とする。  
この課題の床面積の算定方法としては、ピロティ、塔屋、バルコニー、屋外階段、屋上設備部（ベランダ、屋上庭園及び屋外テラス）は床面積に算入しないものとする。なお、ピロティ（柱・梁）のみの用途に供するもの（娯楽施設、設備スペース、駐車庫等）については、床面積に算入しないものとする。また、エレベーターシャフトは容積率には算入しないものとする。

(3) 要求室  
下駄の室は、すべて計画する。なお收藏関連の諸室は計画する必要はない。

部門	室名	特記事項	床面積
展示部門	・展示室面積には、倉庫、空調機械室は含まないものとする。		
	大展示室	・展示やイベントに利用する。 ・天井高さは 6m 以上とする。 ・無柱空間とする。	約 400m <sup>2</sup>
	中展示室	・展示やイベントに利用する。 ・天井高さは 3m 以上とする。 ・約 80m <sup>2</sup> を 3 室設ける。	計 約 240m <sup>2</sup>
	小展示室	・展示やイベントに利用する。 ・簡易更衣室として用いることを前提として 2 室に分割可能な可動間仕切りを設ける。	約 50m <sup>2</sup>
	多目的展示室	・主イベントやパフォーマンスアートに利用する。 ・天井高さは 6m 以上とする。 ・無柱空間とする。	160m <sup>2</sup> 以上
	荷解室	・作業機入用の荷解室とする。 ・前面をシャッターとする。 ・人荷用エレベーターの動線に配慮する。	約 30m <sup>2</sup>
市民創作部門／他	アトリエ A	・ワークテーブルを設ける。 ・流し台、ロッカーを設ける。	約 60m <sup>2</sup>
	アトリエ B	・ワークテーブルを設ける。 ・流し台、ロッカーを設ける。	約 40m <sup>2</sup>
	アトリエ C	・流し台、ロッカーを設ける。	約 25m <sup>2</sup>
	ランジ	・創作時の休息、交流に利用。	適宜
共用部門	エントランスホール	・西側道路、本館（連絡通路エリア内）、駐車場からの動線に配慮する。	適宜
	カフェ	・外部からの出入口には風除室を設ける。 ・チケットを販売する案内カウンターを設ける。 ・ロッカークーナー（面積適宜）を設ける。	適宜
		・テーブル、イス、カウンターで 25 人以上設ける。	
		・厨房を設ける。 ・屋外テラスからも出入りできるようにする。	
他	日だまりランジ	・ご神木に対応する空間とする。 ・ソファ等を配置する。	－
	吹抜け	・短辺／長辺＝1／2 以上の整形とし、開口面積を 40m <sup>2</sup> 以上とする。 ・3 層吹抜けとし、採光に配慮する。 ・共用部のいずれかに設ける。	
	事務室	・5 人分の事務スペース（5m <sup>2</sup> /人以上）とする。 ・案内カウンターは事務室に設けなくてもよい。	適宜
	便所	・男、女、多機能トイレ（オストメイト対応）を各階に設け便器、洗面、SK 等をレイアウトする。	
屋上設備	スペース	・面積は約 120m <sup>2</sup> とする。 ・空中ヒートポンプ、外気処理空調機、電気設備を設置する。 ・機器のメンテナンスに配慮し、階段及び人荷用エレベーターを屋上に通じるように設ける。	－
	設備スペース	・その他、採用した設備計画に応じて計画する。	適宜
・上記の室に関連して必要と思われる室等は、適宜計画するものとする。			

- (1) 駐車場は平面型とし車1台駐車場1台分及び管理・サービス用として1台分を設ける。それ以外の一般利用者は美術館敷内側南側の駐車場を利用する。
- (2) 駐車場は、2.0m×0.5mとし、20台分以上設ける。
- (3) 屋上庭園(面積150m<sup>2</sup>以上)を3階床レベル(2階屋上部分)に設ける。彫刻スペースを約50%、植栽用土台(t=500程度、25%以上)を設ける。
- (4) 屋外ファニチャーを含む屋外テラス(50m<sup>2</sup>以上)を地上に設ける。

- (1) 建築物はバリアフリー、セキュリティ、省エネルギーに配慮する。
- (2) 本館及び駐車場からの動線に配慮する。また各部門は利用形態に応じ適切に計画する。
- (3) 敷地敷外及び近隣環境と配慮するとともに、空調負荷の抑制や自然光の利用、日射遮蔽及び通風等を用いて、建築物環境負荷低減に配慮する。
- (4) 建築物全体が、構造耐力、安全とあるように計画するとともに経済性にも配慮する。
- (5) 構造造形、架構形式、スパン割及び基礎構造について適切に計画すると共に、適切な断面寸法の部材を配置する。
- (6) 設備機器の搬入出力及び更新に配慮した計画とする。また乗用エレベーター及び人荷用エレベーターを適切に計画する。
- (7) 建築物の外壁の開口部で延焼のおそれのある部分には、所定の防火設備を適切に計画する。また、防火区画(防火区画・堅穴区画)が必要な部分には、所定の防火設備を用いて適切に区画する。なお、本建築物は、自動式のスプリンクラー設備等を設けないものとし、また避難上の安全の検証を行わないものとする。
- (8) 非常用進入口もしくは進入口に代わる窓など(代替進入口)を設ける。また廊下を含む共用部分の排煙を適切に計画する。
- (9) 地上に通ずる2以上の直通階段を適切に計画する。また、必要に応じて、「敷地内の避難上必要な通路」を適切に計画する。

**答案用紙 I** の定められた枠内(寸法線については枠外でもよい。 )に、黒鉛筆を用いて記入する。

1. 要求図面(答案用紙 I に記入)

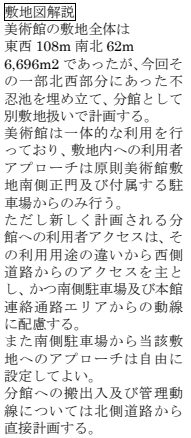
下表により、所定の図面を作成し(フリーハンドでもよい、)必要な事項を記入する。なお各図面には、必要に応じて計画上留意した事項について、簡潔な文章や矢印等により補足して明示する。

図面及び縮尺	特 記 事 項
(1) 階平面図兼配置図 1/200	<p>① 1階平面図兼配置図、2階平面図及び3階平面図に、次のものを図示又は記入する。</p> <p>イ、建築物の主要な仕割り制及び床面積の計算に必要な程度) ロ、室名等</p> <p>ハ、設備シャフト(パイプシャフト(PS)、ダクトスペース(DS)、電気シャフト(EPS))の位置</p> <p>ニ、設備計画に応じた設備スペース(ただし、屋上に設けた場合は断面図に図示する。)</p> <p>ホ、断面図の切断位置</p> <p>ハ、要求室の床面積、特記事項の室、スペース、仕器等</p> <p>ト、屋上設備スペースの位置(設置した下階に適切に平面図に点線で表示)</p>
(2) 2階平面図 1/200	<p>② 1階平面図兼配置図には、次のものを図示又は記入する。</p> <p>イ、建築物の出入口(▲で表示)、通用口・搬入口(△で表示) ロ、駐車場(台数及び出入口を示す。)</p> <p>ハ、敷地内通路及び避難上有効な仕法の明示(ある場合のみ)</p> <p>ニ、屋外テラス、通路、植栽等</p> <p>③ 2階平面図には、次のものを図示又は記入する。</p> <p>イ、下階の屋根、ひさし等となる部分</p> <p>ロ、居室の最も遠い位置から2の直通階段に至る歩行経路、その一に至る歩行距離及び重複区間の長さ</p>
(3) 3階平面図 1/200	<p>④ 3階平面図には、次のものを図示又は記入する。</p> <p>イ、下階の屋根、ひさし等となる部分、屋上庭園</p> <p>ロ、居室の最も遠い位置から2の直通階段に至る歩行経路、その一に至る歩行距離及び重複区間の長さ</p> <p>ハ、非常用進入口もしくは代替進入口(△)の位置</p>
(3) 断面図 1/200	<p>① 切取位置は、屋上庭園及び各階の任意の要求室を含み、立体的構成をわける位置とする。なお水平方向、鉛直方向の省略は行わないものとする。</p> <p>② 屋上に設備スペース(ある場合)を図示する。</p> <p>③ 建築物の最高の高さ、階高、天井高、1階床高、基礎底盤及び主要な室名を記入する。</p> <p>④ 梁、壁、基礎、スラブの断面を図示する。</p> <p>⑤ 延焼の恐れのある部分及び、防火区画の防火設備、特定防火設備を図示する。</p>

(1) 地上 1～3 階の床面積及びその合計を記入する。なお、各階の床面積については、その算定式も記入する。また建ぺい率及び容積率とその計算式についても記入する。

建築計画、構造計画及び設備計画について、次の要点等を具体的に記述する。なお、要求図面では表せない部分についても記述する。

- (1)美術館本館、駐車場との関係性において、建築計画で配慮した点
- (2)ご神木を活かすために配慮した点



(特、図等の表示は、必要な箇所(外壁の開口部、断面図も含む)に全て記入すること)

<p>【建築物の外壁の開口部で延焼のおそれのある部分の位置（延焼ライン）と防火設備】</p> <p>延焼のおそれのある部分の距離（各層とも） →○m</p> <p>防火設備の種類</p> <p>（開口部）</p> <p>隣地境界線又は道路中心線</p>	<p>【防火区画に用いる防火設備の位置及び種類】</p> <p>防火区画(面積区画・堅穴区画)に応じて、要求される所定の防火設備の位置及び種別を記入すること</p> <table border="1"> <tr> <td>特定防火設備</td><td>法ニ九・二ノロに規定する防火設備</td></tr> </table>	特定防火設備	法ニ九・二ノロに規定する防火設備
特定防火設備	法ニ九・二ノロに規定する防火設備		
<p>建築物の外壁の開口部で延焼のおそれのある部分がある場合においては、隣地境界線又は道路中心線から延焼のおそれのある部分までの距離（m）を記入し、延焼ラインを破線で図示すること</p> <p>また、建築物の外壁の開口部で、延焼のおそれのある部分の開口部に要求される所定の防火設備の種別を記入すること</p>	<table border="1"> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">特</td><td style="text-align: center; vertical-align: middle;">防</td></tr> </table>	特	防
特	防		

■添削について  
コース生・添削希望者は、図面、要点、エスキース・分析表を同封して下記住所まで  
送付下さい。〆切は11月12日(火)消印有効。添削は約1週間程度でご返却を予定  
しています。  
〒554-0012 大阪市此花区西九条2-7-8-3F 製図試験 事務局  
送付前に図面は必ずコピーを取ったのち、その原本を4つ折りして  
角2号封筒を使用してください。速達、書留、宅急便にする必要は  
ありません。

試験場		受験番号	<input type="text"/> <input type="text"/> . <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>	HN		製図試験.comID	
-----	--	------	---	----	--	------------	--

I. 設 計 条 件

この課題は、既存の美術館（以下本館）の敷地内の不忍池（しのばずのいけ）を含む一部を分割して、「分館」を計画するものである。分割する敷地内には伐採できない高さ 12m のご神木があり、そのご神木を活かした分館とすることが求められている。分館は、様々な市民展示活動や搜索拠点となることを目的として計画する。

1. 敷地及び周辺条件

- (1) 敷地の形状、接道条件、周辺状況等は、「敷地図」のとおりである。
- (2) 敷地は道路及び隣地との高低差はないものとする。また歩道の切り開きは、1 箇所あたり 6m までできるものとする。
- (3) 敷地は、住居地域及び準防火地域に指定されている。また、建ぺい率の限度は 70%（角地加算を含む）、容積率の限度は 200%である。
- (4) 電気、ガス及び上下水道は、完備している。
- (5) 地盤は池であったため、支持地盤として使えるのは GL-5m 以下の部分のみである。
- (6) 河川の氾濫、日影及び積雪の配慮はしなくてよい。

2. 建 築 物

- (1) 構造、階数等  
地上3階建ての建物とし、構造形式は自由とする。
- (2) 床面積の合計  
地階を除く床面積の合計は、1,900m2 以上 2,300m2 以下とする。  
この課題の床面積の算定においては、ピロティ、塔屋、バルコニー、屋外階段、屋上設備スペース、屋上庭園及び屋外テラスは、床面積に算入しないものとする。なお、ピロティ等を屋内的用途に供するもの(娯楽スペース、設備スペース、駐車場等)については、床面積に算入するものとする。また、エレベーターシャフトは容積率には算入しないものとする。
- (3) 要求室  
下表の室は、すべて計画する。なお収蔵関連の諸室は計画する必要はない。

部門	室 名	特 記 事 項	床面積
・展示室面積には、倉庫、空調機械室は含まないものとする。			
展 示 部 門	大展示室	・展示やイベントに利用する。 ・天井高さは 6m 以上とする。 ・無柱空間とする。	約 400m2
	中展示室	・展示やイベントに利用する。 ・天井高さは 3m 以上とする。 ・約 80m2 を 3 室設ける。	計 約 240m2
	小展示室	・展示やイベントに利用する。 ・簡易更衣室として用いることを前提として 2 室に分割可能な可動間仕切りを設ける。	約 50m2
	多目的展示室	・主にイベントやパフォーマンスアートに利用する。 ・天井高さは 6m 以上とする。 ・無柱空間とする。	160m2 以上
	荷解室	・作品搬入用の荷解き室とする。 ・前面をシャッターとする。 ・人荷用エレベーターの動線に配慮する。	約 30m2
市 民 創 作 部 門	アトリエ A	・ワークテーブルを設ける。 ・流し台、ロッカーを設ける。	約 60m2
	アトリエ B	・ワークテーブルを設ける。 ・流し台、ロッカーを設ける。	約 40m2
	アトリエ C	・流し台、ロッカーを設ける。	約 25m2
	ラウンジ	・創作時の休憩、交流に用いる。	適宜
共 用 部 門 ／ 他	エントランスホール	・西側道路、本館（連絡通路エリア内）、駐車場からの動線に配慮する。 ・外部からの出入口には風除室を設ける。 ・チケットを販売する案内カウンターを設ける。 ・ロッカーコーナー（面積適宜）を設ける。	適宜
	カフェ	・テーブル、イス、カウンターで 25 席以上設ける。 ・厨房を設ける。 ・屋外テラスからも出入りできるようにする。	
	日だまりラウンジ	・ご神木に対応する空間とする。 ・ソファ等を配置する。	
	吹抜け	・短辺／長辺＝1／2以上の整形とし、開口面積を 40m2 以上とする。 ・3 層吹抜けとし、採光に配慮する。 ・共用部のいずれかに設ける。	－
	事務室	・5 人分の事務スペース(5m2/人以上)とする。 ・案内カウンターは事務室に設けなくてもよい。	適宜
	便所	・男、女、多機能トイレ（オストメイト対応）を各階に設け便器、洗面、SK 等をレイアウトする。	
	屋上設備スペース	・面積は約 120m2 とする。 ・空冷ヒートポンプ、外気処理空調機、電気設備を設置する。 ・機器のメンテナンスに配慮し、階段及び人荷用エレベーターを屋上に通じるように設ける。	－
設備スペース			適宜
・上記の室に関連して必要と思われる室等は、適宜計画するものとする。			

3. その他の施設等

- (1) 駐車場は平面駐車とし車いす駐車場 1 台分及び管理・サービス用として 1 台分を設けるそれ以外の一般利用者は美術館敷地内南側の駐車場を利用する。
- (2) 駐輪場は、2.0mx0.5m とし、20 台分以上設ける。
- (3) 屋上庭園(面積 150m2 以上)を3階床レベル(2 階屋上部分)に設ける。彫刻スペースを約 50%、植栽用の客土(t=500 程度、25%以上)を設ける。
- (4) 屋外ファニチュアを含む屋外テラス(50m2 以上)を地上に設ける。

4.留 意 事 項

建築計画、構造計画及び設備計画については、次の点に留意して計画する。

- (1) 建築物はバリアフリー、セキュリティ、省エネルギーに配慮する。
- (2) 本館及び駐車場からの動線に配慮する。また各部門は利用形態に応じて適切に計画する。
- (3) 敷地条件(方位等)や周辺環境に配慮するとともに、空調負荷の抑制や自然光の利用、日射遮蔽及び通風等を用いて、建築環境負荷低減に配慮する。
- (4) 建築物全体が、構造耐力上、安全であるように計画するとともに経済性にも配慮する。
- (5) 構造種別、架構形式、スパン割及び基礎構造について適切に計画すると共に、適切な断面寸法の部材を配置する。
- (6) 設備機器の搬出入及び更新に配慮した計画とする。また乗用エレベーター及び人荷用エレベーターを適切に計画する。
- (7) 建築物の外壁の開口部で延焼のおそれのある部分には、所定の防火設備を適切に計画する。また、防火区画(面積区画・堅穴区画)が必要な部分には、所定の防火設備を用いて適切に区画する。なお、本建築物は、自動式のスプリンクラー設備等を設けないものとし、また「避難上の安全の検証」を行わないものとする。
- (8) 非常用進入口もしくは進入口に代わる窓など(代替進入口)を設ける。また廊下を含む共用部分の排煙を適切に計画する。
- (9) 地上に通ずる2以上の直通階段を適切に計画する。また、必要に応じて、「敷地内の避難上必要な通路」を適切に計画する。

Ⅱ. 要 求 図 書

【答案用紙 I の定められた枠内(寸法線については枠外でもよい。)に、黒鉛筆を用いて記入する。

1. 要求図面(答案用紙 I に記入)

下表により、所定の図面を作成し(フリーハンドでもよい)、必要な事項を記入する。なお各図面には、必要に応じて計画上留意した事項について、簡潔な文章や矢印等により補足して明示する。

図面及び縮尺	特 記 事 項
(1)1 階平面図 兼 配置図 1/200  (2)2階平面図 1/200  (3)3 階平面図 1/200	① 1 階平面図兼配置図、2 階平面図及び 3 階平面図に、次のものを図示又は記入する。 イ.建築物の主要寸法(柱割り及び床面積の計算に必要な程度) ロ.室名等 ハ.設備シャフト〔パイプシャフト(PS)、ダクトスペース(DS)、電気シャフト(EPS)〕の位置 ニ.設備計画に応じた設備スペース(ただし、屋上に設けた場合は断面図に図示する。) ホ.断面図の切断位置 ヘ.要求室の床面積、特記事項の室、スペース、什器等 ト. 屋上設備スペースの位置(設置した下階に適切に平面図に点線で表示)  ② 1 階平面図兼配置図には、次のものを図示又は記入する。 イ.建築物の出入口(▲で表示)、通用口・搬入口(△で表示) ロ.駐車場(台数及び出入口を明示する。) ハ.敷地内通路及び避難上有効な寸法の明示(ある場合のみ) ニ.屋外テラス、通路、植栽等  ③ 2 階平面図には、次のものを図示又は記入する。 イ.下階の屋根、屋根の勾配、ひさし等となる部分 ロ. 居室の最も遠い位置から2の直通階段に至る歩行経路、その一に至る歩行距離及び重複区間の長さ  ④3 階平面図には、次のものを図示又は記入する。 イ.下階の屋根、ひさし等となる部分、屋上庭園 ロ.居室の最も遠い位置から2の直通階段に至る歩行経路、その一に至る歩行距離及び重複区間の長さ ハ.非常用進入口もしくは代替進入口(△)の位置
(3)断面図 1/200	① 切断位置は、屋上庭園及び各階の任意の要求室を含み、立体構成がわかる位置とする。なお水平方向、鉛直方向の省略は行わないものとする。 ② 屋上に設備スペース(ある場合)を図示する。 ③ 建築物の最高の高さ、階高、天井高、1 階床高、基礎底盤及び主要な室名を記入する。 ④ 梁、壁、基礎、スラブの断面を図示する。 ⑤ 延焼の恐れのある部分及び、防火区画の防火設備、特定防火設備を図示する。

2. 面積表(答案用紙 I に記入)

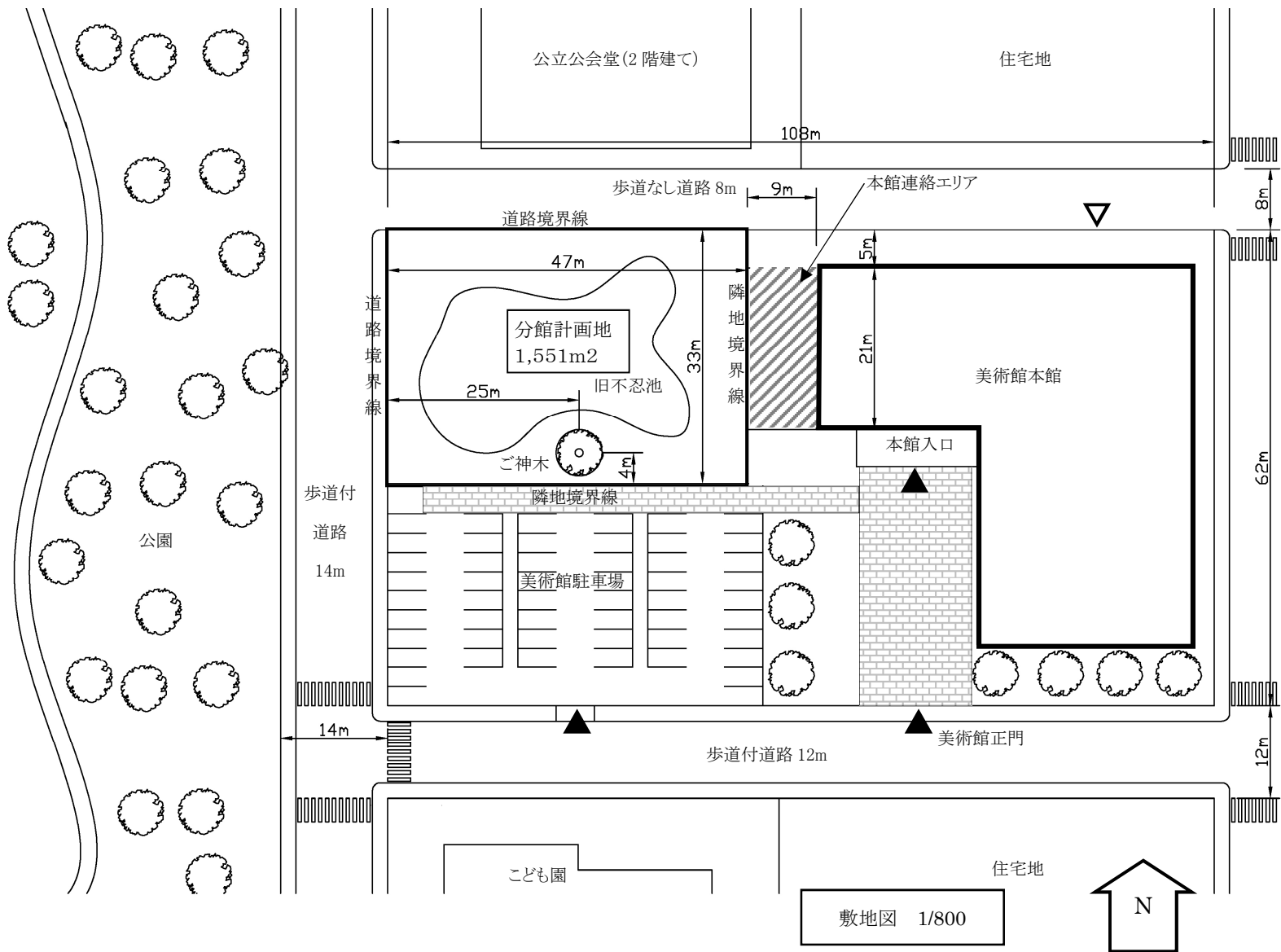
- (1) 地上 1～3 階の床面積及びその合計を記入する。なお、各階の床面積については、その算定式も記入する。また建ぺい率及び容積率とその計算式についても記入する。

3. 計画の要点等

建築計画、構造計画及び設備計画について、次の要点等を具体的に記述する。なお、要求図面では表せない部分についても記述する。

- (1)美術館本館、駐車場との関係性において、建築計画で配慮した点
- (2)ご神木を活かすために配慮した点
- (3)様々なイベントを行う多目的展示室の設備を含む設えについて配慮した点
- (4)廊下を含む共用部の排煙について配慮した点
- (5)不忍池跡地に対して、基礎の選定理由と対処した点
- (6)防火区画についてその区画方法と利用した防火設備について
- (7)エントランスホール及び大展示室で採用した空調方式とその理由
- (8)日射を遮蔽しつつ日光を取り入れるために工夫した点
- (9)建築環境負荷低減に配慮した点(3 点ただし(8)除く)





**敷地図解説**  
美術館の敷地全体は東西 108m 南北 62m 6,696m<sup>2</sup> であったが、今回その一部北西部分にあった不忍池を埋め立て、分館として別敷地扱いで計画する。美術館は一体的な利用を行っており、敷地内への利用者アプローチは原則美術館敷地南側正門及び付属する駐車場からのみ行う。ただし新しく計画される分館への利用者アクセスは、その利用用途の違いから西側道路からのアクセスを主とし、かつ南側駐車場及び本館連絡通路エリアからの動線に配慮する。また南側駐車場から当該敷地へのアプローチは自由に設定してよい。分館への搬出入及び管理動線については北側道路から直接計画する。

**分館敷地**  
東西 47m 南北 33m  
敷地面積：1,551m<sup>2</sup>  
敷地南中央部（南西角から東に 25m、北に 4m 地点）にご神木（枝張り 6m、樹高 12m）がある。

**本館**  
RC：3 階建て約 4,500m<sup>2</sup>

**防火設備等の凡例**  
(㊦、㊧等の表示は、必要な箇所(外壁の開口部、断面図も含む)に全て記入すること)

【建築物の外壁の開口部で延焼のおそれのある部分の位置(延焼ライン)と防火設備】		【防火区画に用いる防火設備の位置及び種類】	
		防火区画(面積区画・堅穴区画)に応じて、要求される所定の防火設備の位置及び種別を記入すること	
		特定防火設備	法 2-九-二ノロに規定する防火設備
建築物の外壁の開口部で延焼のおそれのある部分がある場合においては、隣地境界線又は道路中心線から延焼のおそれのある部分までの距離 (m) を記入し、延焼ラインを破線で図示すること また、建築物の外壁の開口部で、延焼のおそれのある部分の開口部に要求される所定の防火設備の種別を記入すること		特	防

5. 図面レイアウト(製図試験.com 課題指示:本試験では解答用紙 I に記載)

1 階平面図 兼配置図	3 階 平面図
2 階 平面図	断面図

■添削について  
コース生・添削希望者は、図面、要点、エスキース・分析表を同封して下記住所までお送り下さい。〆切は 11 月 12 日(火)消印有効。添削は約 1 週間程度でご返却を予定しています。  
〒554-0012 大阪市此花区西九条 2-7-8-3F 製図試験.com 事務局  
送付前に図面は必ずコピーを取ったのち、その原本を 4 つ折りして角 2 号封筒を使用してください。速達、書留、宅急便にする必要はありません。



建築計画、構造計画及び設備計画について、次の要点等を具体的に記述する。  
なお、要求図面では表せない計画についても記述する。**（指示されている図示は必須とする）**

(1)美術館本館、駐車場との関係性において、建築計画で配慮した点

	具体的に図解せよ

(2)ご神木を活かすために配慮した点

	具体的に図解せよ

(3)様々なイベントを行う多目的展示室の設備を含む設えについて配慮した点

建築計画：
設備計画：

(4)廊下を含む共用部の排煙について配慮した点


(5)不忍池跡地に対して、基礎の選定理由と対処した点


※要点・図面・エスキースの裏面には念のため、氏名のみお書き添えください。  
製図試験comIDのない方はIDは空欄をお願いします。受験番号とかは書かないようにしてください。

(6)防火区画についてその区画方法と利用した防火設備について


(7)エントランスホール及び大展示室で採用した空調方式とその理由

エントランスホール：
大展示室：

(8)日射を遮蔽しつつ日光を取り入れるために工夫した点

具体的に図示せよ	

(9) 建築環境負荷低減に配慮した点 (3点ただし(8)除く)

①	具体的に図示せよ
②	
③	